

# アメリカの除草剤

1963年度に使用されているアメリカでの除草剤使用法について、カリフォルニア大学農業改良普及所より、弊社に一覧の資料が送られて参りましたので、ご参考に供します。

作物	薬剂名	10 a/g 使用基準	10 a/l 撒布量	処理適期	対象雑草	註
混播 採草地 (ク ロバ ー)	24 D アミン	57~ 85	水 18~56	草地在良く出 来てから。	広葉の一年生	良好な土壤湿分のとき、雑 草小さいとき。
	24 D (塩、アミン) エステル	広葉の永年生雑草には直接撒布。230 g に水 95 l 雑草の体ぬれるようにして全面撒布をさける。 この処理は混播草地で殆どのマメ科に損傷を与える。				
放牧地	24 D 245 T	Silvex : カリフォルニア森林植物の薬物処理 Bulletin 参照。				

レ ッ ド ク ロ バ ー	シノックス DNBP	NH <sub>4</sub> 塩 85	水 18~56	雑草小さくク ロバ一本葉2 枚以上	広葉の一年生 の実生	採種栽培用、処理後 60 日 以内採食放牧不可
	ブリマー ジ DNBP	アミン 113~ 170				
	DNBP	140	デーゼル オイル 14 l	1 番刈後か休 眠期	一年生雑草	作物生育してから圃場えの 放牧不可
	24 D アミン	113	水 18~56	雑草の開花初 期	あざみ	クロバの開花前に使用、 すじ播保護
	IPC	340~ 450	粉状、水同上	晩秋~冬期	冬季一年生グ ラス	栽培前、発芽前、発芽極初 期
	Dalapon	ジョンソングラス、ダリスグラス 1,130 g, 水 95 l, 使用要領ルーサンの項に同じ				
	CIPC	450~ 680	粉状の方がよ い	まめだおしの発芽初期 雑草発生前、 初期	一年草ことに グラス	作物生育してから雨か灌水 で土壤湿った時に使用、収 穫物の給与、放牧不可
	CIPC	450				
1	4-(2.4 DB)	アミン 113	空中 9, 地上 18~56	雑草 1~3 葉 期	広葉実生雑草	作物の発育期使用、給与放 牧不可
	エプ タム EPTC	340~ 450	液又は粉末 水 18~56	栽培前	一年草グラー ス	鉍物土数分内に混合、60 日 放牧不可

ラ デ ノ ク ロ バ ー	24D アミン	85	水 18~56	春充分再生し た時	広葉の雑草	作物活力ついた時、土壤水 分条件の良い時
	4 (2.4 DB)	アミン 113	空中撒布 9 l	雑草 1~3 葉 時	広葉の雑草実 生	作物生育してから、家畜給 与不可
	4 (2.4 DB)	エステル 85		同上	同上	作物が生育してからのみ放 牧不可
	IPC	340~ 450	水 18~56 作物にはむし る粉状が良い	秋~初冬	冬季一年生グ ラス	ライグラス、ハコベ発芽前 後生育期
	CIPC	450~ 680		まめだおし(属)の発芽初期		作物生育してから、放牧や 給与不可
	CIPC	450	粉状が良い	春、初夏、秋	一年生特にグ ラス	同上温暖期に撒布、新播畑 に用う
	EPTC (EPTAM)	340~ 450	粉状又は液状 撒布なら水~56	栽培前	同上	鉍物性土壤では撒布後数分 で土壤と良く混合する 60 日間放牧不可

米	24 D	85~ 140	水 9~28	栽植後55~65 日	広葉雑草、す げ属	55日以前の撒布には MC PA のみ用う
	MCPA	85~ 140	水 9~28	栽植後45~65 日	同上	アミン、ソーダ塩、24Dよ り安全
	DPA スタム	450	空中撒布水 9	直播後 6 週間以内 barnyard grass, water grass が水面より 出ないうちに処理する 3~4葉期 圃場に滴下するのは良く ない		

作物	薬剤名	10 a/g 使用基準	10 a/l 撒布量	処理適期	対象雑草	註
ア ル フ ア ル フ ア	DNBP	850~1,400	水 18~56 (1斗~3斗)	雑草幼少 ルーサン 2~3葉	} 広葉の一年草	ブリーマー NH4塩 処理 60日以内給与不可 アマイド 放牧不可
	DNBP	113~170				
	DNBP	140	オイル23~45	作物休眠中	一年草	作物休眠中雑草10cm位の とき
	DNBP	140	水 45~90混	一番刈直後	まめだおし属	放牧不可 撒布植物喰わせ ぬこと
	DNBP	250	水 90	再生前	黄花あざみ	同上
	*24 D アマイド	113	水 18~56	新播の圃場	あさがお開花 初	すじまきに撒布してルーサ ーを保護する
	*4- (2.4 DB)	113	} 空中撒布水 9 地上 18~56	雑草 1~3葉	} 広葉実生 雑草	アミン } 播種又は発芽期 ユステル } 放牧給与不可
	*4- (2.4 DB)	56~84				
	IPC	335~447	水 18~56	晩秋~冬	冬期生育の一年 草	栽培前の畑 粒状のまま で良い場合あり
	*Dalapon	1,130	水 95	} ジョンソングラス 30~45cm 丈パーミューグラス 10~15cm 草丈のとき雑草のみにかけ地表撒布をさける 必要に応じて くりかえす		
*CIPC	450~680	粒粉状物質	まめだおし	発芽初期	作物充分成育 降雨利用 放牧不可	
*CIPC	450	同上	雑草発生前	イネ科越冬一 年雑草	作物充分生育してから	
Diuron (カークス)	170~340	水 28~56	12月作物休眠	一年雑草	2年目以降の旧畑に使用	
EPTC (EPTAM)	335~447	粒状、液状	栽培前	イネ科一年雑 草	鈣質土壌では撒布数分後に 混入	
		液状の撒布では水 18~56 l 60日放牧不可				

\*印 播種時の畑に使用

穀 類	24 D アミン	55~85	水 9~47	} 作物良く生育 し分けつ始の 時	} 一年生広葉 雑草	} 作物がほばらみ期になっ てから使用せぬこと
	24D エスエル	28~55	水 9~47			
大麦	Barban	140~168	水 4~18	} 野生えんばくの過半が2葉で作物良く生育した時		
小麦	(CARBYNE)			} 作物4葉以上不可 野生えんばくに充分かける 作物収穫後も放牧不可		

えん ばく	24 D アミン	55~85	水 9~47	} 作物が良く生 育して	} 一年生広葉 雑草	} ほばらみ期になつて撒布不 可
	MCPA アミン	55~85	水 9~47			

マッ ル イ ゴ ロ	24 D アミン	56~113	水 18~56	} 作物出穂後15 cm 伸びて	} 広葉の雑草	} 雑草に広ロノズルで直接撒 布
	MCPA アミン	85	空中水 9 l			
	プロバジン	226	水 28~56	} 播種同時雑草発芽前後(一年生) 湿潤土壌か灌水の要あり 残効のためコーン、ソルゴー以外次季害あり この種子飼料には使用不可		

スー ダ ン グ ラ ス	24 D アミン	113	水 9~47	出穂15cm後	広葉の雑草	採種畑は生育ほばらみ期、 乳熟期使用不可
-----------------------------	----------	-----	--------	---------	-------	-------------------------

カリフォルニアでは、気候も温帯に属し、発生する雑草も幾分異なっておりますが、土壌の性質、いわゆる軽い土か重い土かにより撒布の濃度が異なっており、更に撒布時の土壌水分条件が問題となります。一般に乾燥地帯であり、灌漑設備が整っておりますので、これらの調節を適切に行なえる仕組みになっております。

作物	薬剤名	10 a/g 使用基準	10 a/l 撒布量	処理適期	対象雑草	註
コーン (食用)	24 D アミン	85~ 170	水 19~38	発芽から出穂迄 発芽前後	広葉の雑草 一年生草丈 4 cm 以下	作物 25 cm 以上の時広口ノズル使用 次の年コーンソルゴー以外のもの作付不可
	Atrazine	225~ 450	水 28~56			
あま	24 D MCPA	55~ 80	空中水 9	作物 10~20 cm 着蕾前	一年生広葉 雑草	アミン アミン
	地上 19~66					
	IPC	340~ 450	水 38~56	草丈 5~10 cm	一年生グラス	湿りある土壌に対して撒布
てんさい	Dalapon	450~ 680	空中撒布水 9	ビート発芽直後	一年生グラス 水草	直接又は保護して撒布 荒地 地向時に作物の生育一時的 的阻害
	Endothal	450~ 680	地上 18~56	発芽前	一年生雑草	降雨時
	Endothal	450~ 680	水 18~ 56	栽培前土と混合	一年生雑草	播種床の旺盛の際併用すると 最効果的
	PEBO (TILLAM)	450	地上撒布 水 37~56	栽培直前	一年生特にグ ラス	デスクまたはロータリー ラーを使用して数分以内に 混合、砂土、軽鬆土20%以上 有機質土壌では使用不可
たまね	KOCN	1,360~2,040	水 56	本葉 3 枚, 広葉一年雑草稚苗期		乾燥期にのみ撒布播種期は 低濃度で最適は 75° F 以上 の温度, 収穫の 30 日以内使 用不可
	CIPC	450	水 18~56	移植後	一年生雑草	軽鬆土, 砂土使用不可
	Carrot oil	28~ 47	原液のまま	作物発芽前	一年生雑草萌 芽期	350° シンナー水に稀釈せず
きぬめ	DNBP	NH 4 塩 85	水 18~56	作物 10~20 cm 丈 作物 5~15cm の時	広葉雑草実生	気温 65~85° F 暖い晴天の 日使用 家畜への給与不可
	DNBP	アミン 170~255	水 18~56			
	4 (24 DB)	アミン 113	水 18~56	作物実生期	広葉雑草 1~ 3 葉	処理圃場に家畜の放牧不可
ぶどう	Oil Aromatic Emulsion		38~95 l 使用	雑草 2~5 cm	一般雑草	直接撒布
	Dalapon	1130 g	水 95 l	ジョンソングラス 30~45 cm 丈バーミュダグラス 10~15 cm の時雑草にだけかけ地表処理さける, 必要により反覆 1 回目 140 l 以上 2 回目 70 l 以上撒布不可		
	Diuron (カーメックス)	初期 180 g~ 360 g 次期 180	水 28~56	晩秋~冬雑草の発芽に先立って (一年生) 3 年以上の旧株で 幹茎 4 cm 以上 12, 1, 2 月使用 軽鬆土は低濃度, 粗, 砂土 使用不可		
	シマジン	180~ 900	水 28~56	同上		
	アミトロール	113	水 28~56	雑草発生の抑圧にカーメックスとシマジンを混ぜたもの 3 年 生以上の休眠株にのみ撒布。葡萄のつるにかからぬようにする		

この一覧表は原文の直訳でありますので、極めて日本の実状に則さないものも多いと思えますから、日本での除草剤、特に飼料作物については、既に本誌「草というもの」の連載講座その他の記事のものを御利用下さい。

除草剤のなかで新しく注目されるのは、人參、セロリーなど、サンケイ科作物に対する Carrot oil (キャロットオイル) と言われる、デーゼル油が使用されていることであります。またヘリコプター、軽飛行機による空中撒布が普及しているので、撒布量が区分されて記されておりますが、日本でも次第にこの傾向にありますので、大規模な雑草抑制作業 (Weed control) が行なわれる日も遠くないことと思えます。

作物	薬剤名	10 a/g 使用基準	10 a/l 撒布量	処理適期	対象雑草	註
人参	carrot oil	46l~ 95l	原液のまま	本薬2枚後根茎8 <sup>ミ</sup> 以前、一年生雑草、涼しい時期、新しいoil使用		
セルリ	carrot oil	19l~ 38l	原液のまま	苗床2~4葉	一年生雑草	新しいoil使用のこと
ア ス バ ラ ガ ス (床)	Monuron (TELVAR)	180~ 360g 砂地は濃度淡く	水 28~56 重い土壌は濃く	雑草発生直前	一年生雑草	収穫前後に処理
	24Dソーダ塩	113~ 225	水 37~56	雑草発生直前	あざみ、夏の広葉雑草、発生前は広ノズル使用、1収穫期に1ヵ月間隔以内2回撒布不可	680gを越えぬこと
	Dalapon	1,130	水 95	収穫後	バーミューダ30~45cm	ジョンソン10~15cm
	EPTC	340	水 18~56	収穫後部分処理 丈のとき反覆 挿木後少なく も30日	はますげ(かやつりぐさ) 鈹質土、撒布数分 内に混合	
レ タ ス	CDEC	450	水 18~56	発芽前	一年生雑草	好結果を得るには少なくとも 125 <sup>ミ</sup> 降雨が数日後必要、 若干発育阻害が出るかも知 れない
	CDEC	450~ 680	水 18~56	栽培前	一年生、強力ロータリー ターレーラーで5cm位 土壌混合	
	IPC	450	水 18~56	発芽前	一年生	125 <sup>ミ</sup> 降雨か灌水数日後に 必要
	IPC	680	水 18~56	栽培前	一年生雑草	ロータリーターレーラーで5 cm位混合
ホー レン ソウ	粒状 カルシウム シアナマイド	68~ 136	粒状	栽植4~6週 間前	一年生雑草	土壌と良く混ぜて良く灌水 する
苺	24D	アミン 113	水 18~56	開花前、収穫 後	広葉、雑草、 あざみ	いちごの葉の屈曲を防ぐた め保護して撒布する 収穫期及び収穫前7日以内 処理不可
	Sesone	400		雑草発生前	一年生雑草	
ト マ ト	carrot oil	18~ 38	原液のまま	作付直前	一年生雑草	350°シンナー、水で稀釈せ ず 強力ロータリーターレーラーで 5cm土壌に混合 軽い砂土、20%有機質土壌 不可 処理数分後ロータリーター レーラーで混合した方がよい
	ベガデックス	450~ 680	水 18~56	栽植前	同上	
	CDEC	450	水 18~56	同上	同上	
	テイラム PEBC CDEC+ PEBC	最高各 450	同上	同上	同上	
にん にく	CIPC	340~ 680	水 18~66	植付直後	一年生雑草	土壌湿分ある時、又は灌水 後撒布



ツメクサ



ヒルガオ



カモジグサ



ジンバリ